



いかない (知らない人にはついて行かない)
の (知らない人の車に乗らない)
お おこえをだす (助けて! と大声を出す)
す すぐ逃げる (連れていかれそうになったら、すぐ逃げる)
し しらせる (近くの人に何があったか知らせる)

秋田県生活環境部 県民生活課
 電話 018-860-1522 FAX 018-860-3891
 E-mail kotsu@mail2.pref.akita.jp
 U R L <http://www.pref.akita.lg.jp/seikatu/>

見守りカメラの設置

大館市釈迦内地区6町内で組織する釈迦内本郷会では、令和2年2月から釈迦内地区に6台の見守りカメラを設置して運用しています。

この見守りカメラは、釈迦内本郷会の令和元年度の取り組みとして計画されました。秋田自動車道の大館北インターチェンジ付近をはじめ、大館市立釈迦内小学校から大館市立北陽中学校の通学路となっている企業の敷地内に取り付けられています。子供の安全確保に地域で取り組む大きな第一歩となっています。

大館市立釈迦内小学校 PTA 会長 篠村 裕紀 様より



「地域全体で子供見守り」への
大きな第一歩

自主防犯活動団体の現況調査実施結果

県内で活動している自主防犯活動団体の現況調査を実施したところ、県で把握している団体の約半数にあたる8市4町の137団体から回答をいただきました。ご協力いただいた各市町村、市町村教育委員会にはお礼申し上げます。

約60%の団体が防犯活動を行う上で問題を抱えており、その多くは参加者の高齢化問題、人手不足であるという結果でした。また、連携が必要な機関として、警察、学校、市町村(教育委員会含む)が多い状況となっていました。



高齢者の交通安全『あきた弁川柳』



いかのおすし通信の 送付先の変更連絡 のお願いについて

いかのおすし通信を自主防犯団体等の皆様に送付しておりますが、PTA会長や代表者が変更したことにより、活動している団体に行き届いていない状況が、先に行った自主防犯団体の現況調査により判明しております。

お手数ですが**変更等となっている場合には下記の連絡先までご連絡いただきますようお願いいたします。**

010-8570

秋田市山王四丁目1-1

秋田県生活環境部県民生活課

安全安心まちづくり・交通安全班

電話 018-860-1522

FAX 018-860-3891

e-mail kotsu@mail2.pref.akita.jp



交通安全の意識を高め、耳慣れた秋田弁で広く県民に交通事故防止を呼びかけるため、秋田弁を使った交通安全に関する川柳を、65歳以上の皆さんから募集し、87句の中から次の方の受賞が決定しました。

御応募いただいた皆様、ありがとうございました。



最優秀賞

三橋 一雄さん（大仙市）

あぶねがら“ながら運転”やめでけれ

（あぶないから “ながら運転”は やめてくれ）



優秀賞

小野 真澄さん（能代市）

「ちょっとぐれ、えがべ」と思う 気の緩み

（「ちょっと位はいいだろう」とつい思ってしまう油断）

佳作：

石田敏子さん（秋田市）、宮腰昭一さん（能代市）

糸屋幸男さん（大館市）、佐藤 豊さん（大潟村）

岸部良作さん（横手市）

犯罪被害者週間 11月25日(水)～12月1日(火)

県民のつどい



犯罪被害者支援シンボルマーク
「ギョっちゃん」

ある日突然、犯罪による被害があなたやあなたの大切な人を襲います。決して他人事ではありません。誰の身にでも起こりうることです。

もし、あなたや、あなたの大切な人が**「犯罪に巻き込まれてしまったら」**と考えてみてください。あなたはどうしますか。あなたの大切な人にどう接してあげますか。そんなことを考えるきっかけにしてみてください。被害者のご遺族の気持ちや被害者がどういうことを必要としているのかを知る機会としてください。

日時：令和2年11月28日(土)10:00～12:30

場所：秋田市中通一丁目4-1 にぎわい交流館AU(あう)3階多目的ホール

内容：● 命の大切さ学習教室作文コンクール表彰式・朗読
● 犯罪被害者遺族による講演
● 警察音楽隊による演奏

入場は無料です。ご来場をお待ちしています。

お問合せは秋田県 県民生活課 ☎ 018-860-1522

お問い合わせ先 県民生活課 電話 018-860-1522 FAX 018-860-3891



地域の子供は地域で守る!!

「地域の目」が減少しています

これまで、登下校時における子供の安全は、「地域の子供は地域で守る」という意識を持った地域住民や防犯ボランティアの方々の努力によって支えられてきました。しかし、現在はボランティアの方々の高齢化や担い手不足などの影響により、子供を見守る「地域の目」が減少しています。

子供達の安全を守るためにも、「地域の目」を増やすことが必要です。



子供を危ない目にあわせないために

目の届きにくい場所にいる子供には声をかけて！

空き地、廃屋、駐車場、公衆トイレ、地下道や高架下などで子供が遊んでいたら、他の場所で遊ぶように言いましょう。



子供が集まる場所は気にかけて！

公園や通学路などを通りかかったら、不審者や怪しい車が近くにいないか目配りしましょう。

一人でいる子供がいたら気にかけて！

公園や通学路などを通りかかったら、不審者や怪しい車が近くにいないか目配りしましょう。

あいさつ等の声をかけて！

子供とあいさつを交わすことで住民同士の絆が強い雰囲気をつくり、犯罪者の入り込む隙がない地域づくりをしましょう。

協力していただける方には、防犯腕章をお貸していますので、管轄する警察署(生活安全課)にお気軽に御相談ください。

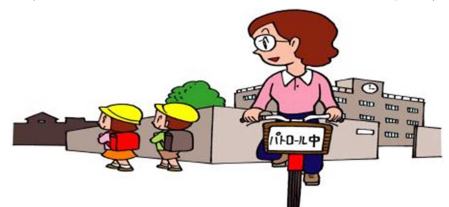
ながら見守り活動に御協力を

「防犯ボランティア団体に加入するのはハードルが高い」という方は、日常活動をしながら気軽に参加できる「ながら見守り」に御協力ください。

「ながら見守り」は、ウォーキング、ジョギング、買物、犬の散歩、花の水やりなどの日常活動を行いながら、

- 子供の登下校時間帯に合わせ
- 防犯腕章やたすきを着け
- 防犯の視点を持って

子供の見守りを行う活動で、近年、全国的に普及しています。





西仙北中学校 P T A

大仙市立西仙北中学校では、6月10日から12日までの3日間、PTA校外指導部の協力を得て「あいさつこだま運動」を実施しました。

大仙市立西仙北小学校と連携して中学生は小学校へ、小学生が中学校へそれぞれ出かけて登校時のあいさつを交わしました。

中学1年生の55人が、小学校の玄関前や通学路で、小学生の後輩達に声をかけ、ハイタッチするなどの微笑ましい光景が広がっていました。今後は、9月末に中学3年生が実施する予定です。



大仙市立西仙北中学校PTA

代表 小笠原 健 様

清水っ子身守り隊



大仙市立清水小学校は75人の児童が元気に学んでいる小学校です。

小学校のある清水地区は南北に広域農道が通っているため、朝夕には通勤の車が多く行き交います。その中を子供達は注意しながら集団登校を行っています。このため、子供の見守りは欠かせません。

下校時には少人数になりやすいので、地域のボランティア等が通学路を中心としたパトロールを行い、下校の様子や危険箇所の把握をしています。



清水っ子身守り隊

代表 高橋 秀材 様

活動団体にベストと帽子を提供いたします！

地域の防犯活動を支援するため、(一社)生命保険協会秋田県協会では、防犯パトロール用の帽子とベストをセットにして無償で提供します。

希望する団体は、次の応募要項を確認のうえ御応募ください。

提供数 帽子・ベスト 5セット1組×10団体分

対象団体 県内に所在し、自主的に防犯活動に取り組んでいる団体を対象とします。
※行政及び行政が設置した機関・団体の応募は御遠慮ください。

応募方法 郵便はがきに、団体名、代表者名、連絡先(住所・電話番号)を記入のうえ、下記の宛先に御応募ください。

募集締切 令和2年11月20日(金)
(当日の消印有効)

留意事項 応募多数の場合は、抽選となります。

その他 提供が決定した団体には、後日電話等で連絡します。

＜応募先・問い合わせ先＞

(一社)生命保険協会 秋田県協会

〒010-0951 秋田市山王 3-1-12 太陽生命秋田ビル 6階

TEL 018-865-0016/FAX 018-888-1706



＜帽子とベスト＞

メッシュ素材で季節を問わずに使えると、利用団体から好評をいただいております。

◆ 編集後記: 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う小学校の休校措置等の影響が未だ続いていますが、各団体とも子供の見守り活動や青色回転灯車両によるパトロールを実施していただいています。今後とも、皆様の積極的な活動をお願いしますとともに情報提供をお願いします。～次回の「いか通」は、12月発行の予定です。(©2015秋田県んだっち)